

環境調査結果のお知らせ

令和8年7月22日9時から浦ノ内湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモトイが最高で68 cells/mL、シャットネラ属が最高で570 cells/mL、タカヤマ属が最高で7 cells/mL確認されました。シャットネラ属は湾奥で漁業被害の発生が強く懸念される警戒基準値（100 cells/mL）を上回っていますので、十分注意してください。

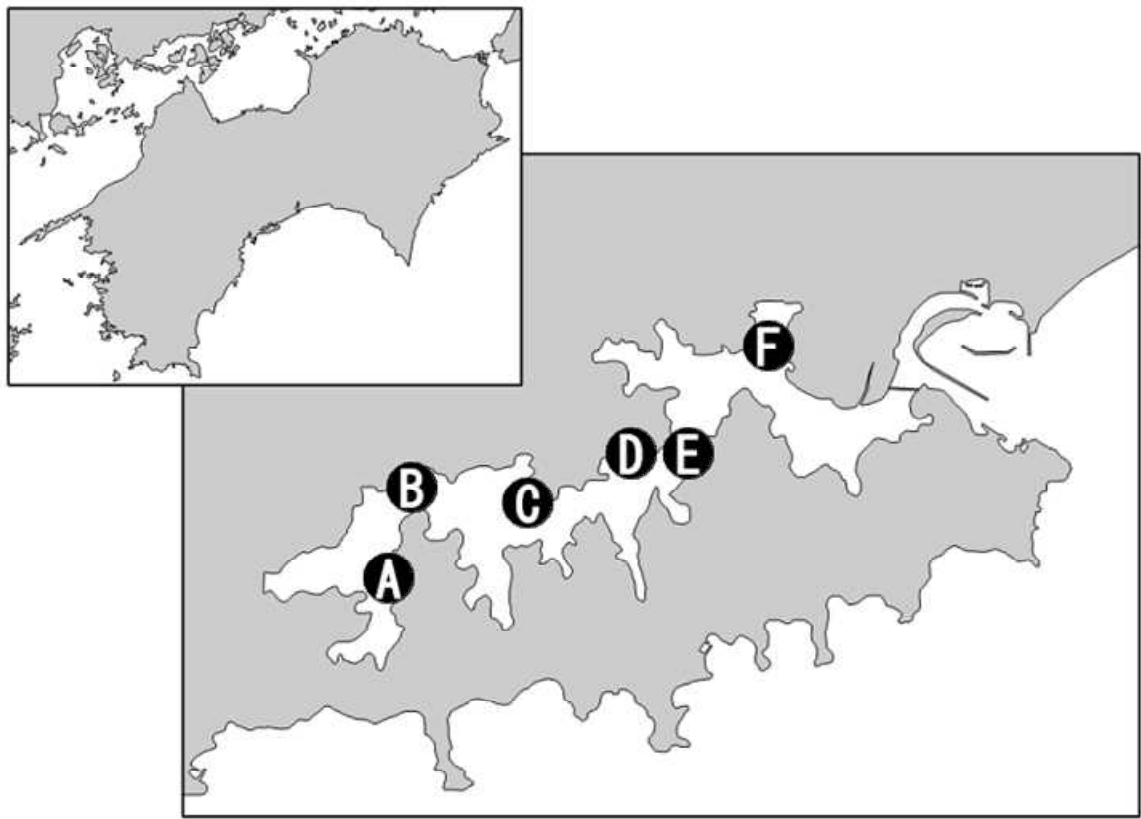
また、湾内全域の表層における水温が30℃を超えていますので、併せて注意してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度	水温	塩分	溶存酸素	カレニア・ ミキモトイ	シャットネラ 属	タカヤマ 属	珪藻
	(m)	(℃)		(mg/L)				
A 鳴無 (2.5m) 【09:33】	0	30.9	28.7	6.8	2	0	1	-
	2	27.6	29.6	5.8	2	39	0	-
	5	25.4	29.9	0.4	1	570	0	-
	底層 8.5	25.0	30.1	0.0	0	50	1	-
B 中学校前 (3.5m) 【09:39】	0	31.3	25.8	7.1	0	1	1	1,500
	1	30.0	29.2	7.1	0	0	0	-
	2	28.2	29.7	6.6	0	0	1	6,300
	3	27.5	30.1	5.9	2	7	0	-
	4	27.0	30.4	5.5	3	30	1	-
	5	27.1	30.7	3.7	9	70	0	6,700
	7	26.8	30.7	1.9	68	56	0	-
	10	25.3	30.4	0.0	1	149	0	220
	底層 11.5	25.1	30.5	0.0	0	44	0	200
C 目ノクソ (3.7m) 【09:54】	0	31.6	28.6	7.1	0	0	0	13,500
	2	28.8	30.1	8.0	0	0	0	9,400
	5	27.9	30.9	7.2	3	24	0	1,080
	10	26.7	30.9	1.9	4	2	0	120
	底層 14.5	25.3	30.8	0.1	0	0	0	40
D 光松 (3.4m) 【10:05】	0	31.4	28.8	7.0	0	0	7	7,700
	2	29.4	30.3	8.7	2	0	1	4,900
	5	28.4	31.2	7.5	0	18	0	4,600
	10	27.9	31.4	3.9	5	12	1	520
	底層 16.5	26.7	31.3	0.6	0	0	0	80
E 大鹿 (2.9m) 【10:16】	0	31.6	28.9	7.2	0	0	0	7,900
	2	29.5	30.3	9.0	0	0	2	8,800
	5	28.6	31.3	7.9	5	20	0	5,350
	10	28.0	31.5	4.8	4	1	0	380
	底層 16.5	26.8	31.5	1.7	0	0	0	120
F 水試小割前 (3.6m) 【10:26】	0	31.5	24.2	7.3	0	0	0	360
	2	29.7	25.3	7.8	0	0	0	560
	5	29.2	25.7	7.3	0	1	1	550
	底層 9	28.8	24.3	6.6	1	1	0	300

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準（※1）	警戒基準（※2）	主な赤潮発生時期 ※3
				浦ノ内湾
カレニア・ミキモトイ	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	5～8月
シャットネラ属	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6～8月
タカヤマ属	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8～9月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度
※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死 並びに 二枚貝の毒化が想定される密度
※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



- A: 鳴無
- B: 中学校前
- C: 目ノクソ
- D: 光松
- E: 大鹿
- F: 水試小割前

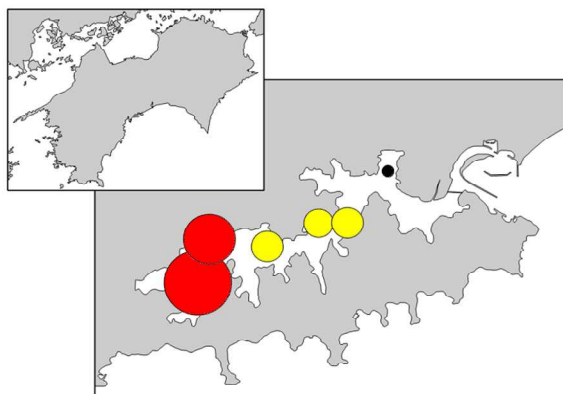
カレニア・ミキモトイ

最大細胞密度



シャットネラ属

最大細胞密度



タカヤマ属

最大細胞密度



珪藻

最大細胞密度



凡例

プランクトンの細胞密度を示す円の大きさ

円のサイズが大きいほど、プランクトンの数が多いので注意してください。

0
×

1~9

10

100

1,000

10,000

100,000

300,000

注意・警戒を示す円の色

黄・赤色の円が確認された場合は、魚介類に悪影響が生じる可能性がありますので、注意してください。

基準値は、「参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準」を参照ください。

注意基準の値以上



警戒基準の値以上

